

# 地中熱利用冷暖房換気システムと エコの取り組み

地球温暖化やエコなど、地球にやさしい取り組みを  
当施設は進んで実践しています。

## ■地中熱利用冷暖房換気システム

当施設では、建物の下、地中6メートルの深さに、太さ50センチメートルの地中熱交換パイプを244メートルに渡り張り巡らせ、建物前面の3本の吸気塔(3色)から外気を導入し、夏場は冷房の補助、冬場は暖房の補助を図り、空調の省エネルギー化を促進しております。このシステムは、旭川地域では最近ようやくWDC(ホワイトデータセンター)構想で雪氷熱等の活用が話題になってきました。それに先だって当施設に従来型エネルギーの代替・低減効率が高い自然エネルギー地中熱利用システムをいち早く導入しております。

## ■エコへの取り組み

- ◎当施設の給湯ボイラーは苫小牧産出の地場産天然ガスを使用し、クリーンでエコなエネルギー利用に取り組んでいます。冷暖房システムも天然ガス使用の空調であり、補助的に床暖房(遠赤外線)も採用して快適で、省エネな環境を目指しております。
- ◎トイレの洗面台には、エアージェットで水分を飛ばし、紙などを使用しないで手を乾燥させることにしました。
- ◎食堂のお箸はエコ箸を使用しております。
- ◎ジュース・カキ氷等のお持ち帰りは、お持ち帰り容器をあえて用意しておりません。ご協力ください。